

電子カルテシステム

9月1日(木)より稼働!

5月末より準備を進めてきた「電子カルテシステム」が9月1日より本稼働となりました。

システム導入によって業務の効率化をはかり、診療情報を共有することによって、安心して医療が受けられる環境作りに取り組んでまいります。

患者様並びにご家族様におかれましては、システムの変更に伴い、しばらくの間はご不便をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本稼働に向けてご支援頂きましたソフトウェアサービス様、徳洲会インフォメーションシステム様、徳洲会グループ関係各分会並びに応援職員各位様に御礼申し上げます。



イラスト素材提供 <http://otoba.ame-zaiku.com/>

当院の情報システム化の経過

- 2012年 11月 PACS導入
(医用画像保管伝送システム)
- 2016年 1月 医事システム更新
- 2016年 9月 電子カルテシステム導入
(ソフトウェアサービス社)



「ピジョン21」より寄贈



徳洲会協力企業の会「ピジョン21」より車椅子が届きました。

これは同会が毎年行っている慈善事業のひとつで今年当院への贈呈となりました。早速、正面玄関に配置してご利用いただいております。

(←)は笑顔の素敵な吉俣院長を中心に！全体朝礼での記念撮影です。

同会会員の皆様の心温まる想いに感謝して八重山の医療・介護・福祉活動に頑張ります。

ありがとうございました。



リレーエッセー File Number 1



まあいいか

今にも自殺しようとしている人を見たら、必死になって引き留めようとするでしょう。しかしながらそこまで緊急を要することは少なく、「まあいいか」と構えて待つことが必要な時があります。アルコール依存症・たばこ・肥満などの場合がそうです。

つい「親切心」から「・・・しなさい」と「助言」めいたことを口にしがちですが、「止めたい、でも止められない」と気持ちが揺れ動いている人にとって「しなさい」は逆効果です。それよりも「まあいいか」と構えて、まず相手の気持ちを理解しようとする方がよっぽど良い接し方です。相手から理解された実感できた時、行動を変える一歩を踏み出せます。

そのように「待てる」人になりたい。



石垣島徳洲会病院
院長 吉俣哲志

